

■■新刊は歩いて来ない■■

コミケットに参加するにあたって最も重要な行為とは、歩くことである。特に一般参加者は、朝玄関を出てから、帰宅するまでの間の大部分を、ほぼずっと立ち、歩いて過ごすことになる。しかも、丸一日の外出に足だけの装備に加え、刻一刻と増加していく戦利品の重さを支えながらになるので、足腰にかかる負担はかなりのものにおよぶ。これは普段からそういう荷物を持って長時間歩き回る習慣があればまだしも、日頃あまり歩かない人には、なかなかハードなトライアルといえるだろう。

ところが、実際参加してみると、多くの参加者がお祭りの高揚感もあってか会期中は意外と疲れを感じずに歩き通せてしまう。しかし、足腰の疲労は後からどっとやってくるのだ。

もとよりコミケットと歩くことが切っても切れない関係にあるのなら、少しでも疲労を軽減し、軽快に1日を歩きつくすために、最初からそれ相応の準備をしていくのが正解なのだ。

■君の靴は。■

アナタは日頃、靴をどんな基準で選んでいるだろうか？ 履きやすさ、値段、デザイン、あるいはブランド？ 歩きやすい靴は世の中たくさんある。おしゃれな靴もたくさんある。もちろん、安い靴も、とても高価な靴もある。そんな数ある靴の中で、コミケットにふさわしい靴、という基準で選ぶとしたら？



●履き心地は？

朝から丸一日履きっぱなしとなるので、履き心地はとても大切だ。キツ過ぎたり、緩すぎたりすれば長時間履くとすると余計に疲れるだけでなく、靴ズレやマメができることもある。

まずは履いてみて、踵、足首、つま先といった部分に圧迫感や当たって気になる部分、逆に納まりが悪かったり靴の中で足が滑るよう感覚がないかをチェックしよう。

ちなみに歩くことを重視する場合、靴はややゆったりしたサイズが良い。これは長時間立っていると足がむくんでくるためと、防寒と疲労軽減に厚手のソックスを履く余裕分を含めてのことだ。なので、コミケット用に靴を新調するなら、予め当日を想定した厚手の靴下を履いて靴屋に行こう。



●靴の造りは？

せっかくの新しい靴、履きなれた足馴染みのよい靴でも、会場を歩き回っているうちに壊れてしまっただけでは元も子もない。会場で突然靴が壊れると、当然とても不便を強いられることになる。そんな事態に陥らないために、履いていくつもりは事前によくチェックし、壊れてしまいそうな靴は避けよう。コミケット会場では靴にも日常生活とは違うより大きな負荷がかかることを念頭に置いて、できるだけしっかりした靴を選ぶようにしたい。

・靴を持って、靴底を数回思い切り曲げてみる。歩く際の屈曲に耐えきれずに靴底が剥がれるのが最も多い靴破損ケースなので、靴底と靴本体が簡単に接着してあるだけだったり、曲げた際に不自然なすきまができる、その付近の縫糸が切れたりほつれたりしているような靴は壊れる危険性が高い。

また、特に女性用の靴は、全体的に繊細なつくりのため、荷物がかついで右に左に体重移動する会場内移動のような負荷をかけると、ヒールが折れる場合がある。サンダル類も同様にストラップが切れてしまいやすい。



●濡れたらどうなる？

雨対策についての事柄だが、もし会場で雨に遭った場合、あるいは当日が朝から雨や雪だった場合、アナタの足元は大丈夫だろうか？ どんなに暖かい防寒着を着込んでも、足が濡れてしまっている場合は防寒は成り立たない。足は濡らさないに限るので、可能ならばきちんとした防水性能を持った靴を用意したい。

・防水の靴を用意しない場合には、万一濡れても足を冷やさないように、厚手でポリエステル、ポリウレタン、ウールなどの水分を溜め込まない素材の靴下を履くだけでも大分違ってくる。

逆に綿やレーヨンの靴下は汗や雨水の浸水で一度濡れるとなかなか乾かないので避けたい。最低限替えの靴下を用意しておくべきである。

